

9.ワークショップ終了後のふりかえりシートまとめ

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	学生同士で化学反応が起きたから。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。、他大学と交流すること		新潟の課題と現状	意見交換が出来たこと、学生との関りが今後無くなる(Twitterの交換などがない)だったこと	起業エコシステム	今回、交流した学生と今後関係するようになりたい。この交流が、プロジェクト等に繋がると感じた。
満足した	グループ分けや構成には満足できているが、やや時間が足りなかった	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟市に対する自分の理解度の浅さ	新潟市の知らないことを知れた、理想像に対する意見を沢山聞けた	住みよさと観光業の両立について、どの面からアプローチしていくのか	
満足した	様々な大学の学生の意見を聞くことのできる場は初めてだったので、とてもいい経験になりました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		認知症カフェとSDGsとをつなげるという考え方	認知症カフェを知ってもらえたこと。	高齢者にも若者にも優しい街にしていってほしいので、そのような取り組みがあると関心を持っていると思う。	
とても満足した	自分に無い視点の意見を知れた。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		自分の視野の狭さと、同年代の方々の行動力のすごさ	嬉しかったこと：様々な意見や活動を知れたこと 残念だったこと：もう少し自分の意見をうまく伝えられなかったこと	福祉、行政、観光	自分にもできることが、まだまだあるということ
とても満足した	自分では思いつかなかった意見がとても多く聞けて、視野がひろくなりました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		たくさんの大学、専門学校の学生さんが居て、それぞれ違う視点を持っていることが面白かったです。	嬉しかったこと…普段関わることの無い人達と話し合いが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。残念だったこと…もう少し自分の学校の特色を生かした意見を言えたらよかったです。	観光業、魅力のPRについてです。 新潟のたくさんの魅力が、市外や県外の人達に伝わり、新潟を好きになって欲しいと考えています！	
満足した	様々な学校に通っている方と意見を交換できたから	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		一つの課題に対しても複数の解決法があるということ	一人ひとり発言の機会がしっかりと確保されていてよかったです。	どんどん人口が減っていて寂しいので、人口減少対策にどのくらい重きを置いているのが気になります。	プライバシーの問題もあり難しいかもしれませんが、もしできれば新潟市出身者と市外出身者の人数バランスを考慮したチーム編成だと、さらに意見の幅が出やすいかと思います。

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	皆様の素晴らしいアイデアを聞いて、自身の考え方がとても具体的なものとなりました。自身の計画を実現するためのステップをボトムアップとトップダウンの両方から進めていきたいと思えます。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。、人々の活力溢れる新潟市を実現するための考えの具体化		人々の具体的なニーズ、小さな声を聞くことを通して具体的に生活環境を改善していくことが必要だと感じました。	自身の考えに率直な意見をもらえたことは非常にためになりました。	新潟市の人々の健康福祉を保つ又は向上させるために具体的にどのような政策がなされているか、年代別の対応を知りたいです。なぜなら、新型コロナウイルスの流行により、外出自粛が広まる中で、肉体的・精神的に不調に陥る人が増加してきており、対処が必要と感じるからです。	
とても満足した	私自身新潟の未来に考えることが今までなかったのですが、よいきっかけをいただけたなと思いました。また、多くの方の意見を聞くことで新潟の魅力を確認しました。	様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟には私が気が付いていない魅力がまだまだたくさんあるのだと気づきました。今後の大学生活で今以上に新潟の魅力を自分自身で体験したいと感じました。	多くの人の意見を聞いて楽しかったです。学生ということで、それぞれの専門科目が違う中話する話題は多種多様で初めて聞く単語なども多く勉強になりました。残念なことは参加した学生の皆さんと今後コンタクトが取れないことです。ぜひこの機会にもっとお話をしてみたかったです。	私は新潟市のまちづくりについて、もっと車がなくとも便利ようにしてほしいなと感じます。車を運転する場合には、道路も広くバイパスもあって、駐車場も広いというたくさんメリットがあります。しかし、車を持っていない身としてはもっと電車やバスの運転本数を増やしてほしいなと感じます。	貴重な機会をいただきありがとうございました。新潟市民としてさらに、新潟の魅力を体験し、発信していきたいと感じました。ありがとうございました。
とても満足した	ここまでの人数でさまざまな価値観を持った方々と意見交換を行うことはないので、良い経験ができた。また、新潟市と向き合う良い機会にもなった。	地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟市の魅力は多くあるけどどれも発信しすぎて、うまく発信が行われていないこと（ターゲットが絞られていないなど）	嬉しかったことは、様々な方と意見交換を行って全員が「新潟市を良いものになりたい」という想いをもっていったこと。残念だったことは、時間が足りず、全員の意見を最後まとめることができなかったこと。	日本一若者が活躍できるまち、日本一女性が大切にされるまちになること。「女性が働きやすい＝男性や障害者、高齢者も働きやすい環境であり、子供を産み育てる女性を大切にすることにより、みんなが大切にされる」	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	普段の学校生活では関わることのできないたくさんの方と意見交流ができ、充実した時間を過ごすことができたと思います。様々なグループの意見を通して今まで気付かなかった視点を知ることができました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		私は、福祉の専門学校に通っているのですが、福祉以外の分野の視点を知ることができました。自分の専門外の話聞いてももっとたくさんを知っていきたいと思いました。また、自分の住んでいる土地をもっとより良くしたいと感じている方がたくさんいる事に気づきました。	嬉しかったこと 活発に様々な活動をしている人が居ること たくさんの意見を聞いたこと もっと活動を自ら行っていきたいと思えたこと 刺激をたくさんもらえたこと 残念だったことは もっと話し合いたかったです	福祉の分野に関心があります。 将来、社会福祉士として働きたいと考えており、様々な立場にある人が豊かに暮らせる市になって欲しいと感じています。また、私の通っている学校では、自分たちで地域イベントなどを企画することがあり、学生が考えた企画を実際に行えるようになって欲しいと感じているからです。学生の意見を取り入れながら地域活性化ができないかと思っているからです。	特にありません
とても満足した	自分では想像できなかった視点からの問題点や考えが聞けたから	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		学生であっても地域のために起こせるアクションはたくさんあることに気づけました。	他大学の学生と議論する機会がなかったのが、今回その機会を頂けて嬉しかったです。時間内に自分の意見をわかりやすく伝えられなかったことが課題として残りました。	デジタルや新しい価値観をどのように街づくりに活用していくか関心があります。高齢化やコロナウイルスの影響でこれまでの生活様式や考え方で都市として成長できないと考えているからです。	
満足した	事前の資料の読み込み・理想の考案など大変ではあったが、そのおかげで楽しみながら自分の意見を伝えることができました。また、様々な人の意見を聞くことができました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		私自身はずっと新潟にいたので、改めて新潟県外の方の意見を聞くことができてよかったです。	沢山のひと意見交換をすることができたが、オンライン故に連絡先の交換などが出来ず、今後の発展が望めない点。	教育、起業、IT、結婚、子育て	
とても満足した	普段話す機会のないNPO法人の方々や、大学生の方々と意見交換できる貴重な機会だったから	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		起業率や魅力度ランキングなど、統計的に見て提案することについて知ることができた	普段より積極的に意見を述べたり、多くの方の意見を吸収できたこと、交流できたことが嬉しかった。	どの世代も住みよく、暮らしやすい環境づくりや、自然や食の魅力を発信する。理由は、これから先自分が生活していく上で、自分だけではなくそこに住む人々の未来に関わってくださる。自分たちが魅力的だと考えていることが留まっているのは寂しい。	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか?(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例:新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか?	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか?	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに興味がありますか?その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
満足した	様々な意見を聞かせてもらい新潟に足りないものなど再確認できた。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟に足りないものを再確認できた。	自分の考えをうまくまとめてから話すべきだった。	観光	
普通	意見が抽象的で具体性に欠けていた気がする。もっと具体性に富んだ濃い話し合いにしたかった。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。		県外から進学のため新潟に来ている学生が意外と多いこと、そんな学生の見ている視点が新潟在住の学生と異なっていることに驚いた。外から見る新潟の意見が聞けた。	同世代の意欲ある学生が多くいたことが嬉しかった。もっと話し合いをしたかった。	県民性なのかもしれないですが、政策やPRが保守的に感じます。シャイです。もっと新しいこと、面白いことに挑戦し、それをしっかりPRしていくことが必要だと思います。見せ方、伝え方がへたくそですね。ナンバーワン、オンリーワンにこだわらず、自分たちが新潟の魅力に気づき、自信をもってPRしなければならぬと思います。北海道に勝つために観光政策をしているわけではありません。沖縄に勝つために魅力を探しているわけではありません。新潟の魅力はナンバーワンでもオンリーワンでもないかもしれないけど、観光者も、消費者もナンバーワン、オンリーワンのとこしか行かない、モノしか食べないというわけではないです。もっと自分たちの県に今住んでいる人のことを第一優先に考え、このまま住み続けてくれるようなまちづくりをしなければならぬと思います。新潟の魅力は沢山あります!	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに興味がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	私自身も新潟をもっと良くしていきたいと思ったのでこういった機会に参加出来たのはとても嬉しいことだと思います。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		他職種が新潟市を良くするために、こういった意見交換の場を作って下さるだけで新潟の未来の想像が膨らみ、より新潟で一生涯暮らしていきたいと再確認出来ました。	県外の大学の方も参加してくれて、新潟の良さを共有できたのは嬉しかったです。	こういったワークショップ、意見交換の場が出た意見は新潟の企業に拡散していただき、企業もそれを取り入れられるような体制をとって欲しいと思いました。今回は新潟がよりいい街になるために、20代大学生の意見を聞いて、2030年にはどうすればいいか考える会でしたが、私たちの考えた新潟市になるにはすぐにはできるものではありません。それより先の2040年に向けた取り組みとして小学生、中学生の意見を聞いて、それを実現化させることにより、専門学校の新たな設立、ユーモアがある街、最先端の楽しい街作りになるのではないかと思います。	楽しかったです。また機会があれば是非参加したいです。
とても満足した	他の学生のまちづくりに関する様々な考え方を聞くことができ、新潟市の魅力にも様々なもの、様々な側面があると思えたから。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		他の学生の意見をわかりやすくまとめて発表する力や発言力、知識量の多さや思考力に圧倒され、自分は押されればなしだったので、自分に足りないものに気付くことができた。また、新潟市をよりよいまちにしていくことを考えたときに、外から訪れた人から見てよいと思えるまちと、住んでいる人から見てよいと思えるまちは違うことに気付いた。	新潟市のことが大好きな人、新潟市に魅力があると感じている人とたくさん話ができることが嬉しかった。このワークショップの目的は新潟市をよりよくする方法を考えることだったが、参加したことで新潟市の魅力を見つめなおすことができ、新潟市という場所をもっと好きになれたように思う。	交通手段の整備 車があれば非常に便利な都市ではあるが、車がないと不便な都市であることは車が運転できなくなった生活を思い描いたときに不安を感じる。自分はこれから先も新潟市にずっと住み続けるつもりなので、たとえ車に乗れなくなっても行きたい場所に行って活動できるかどうかに関心がある。新潟市にはどの世代、どのような状況でも安心して、便利な生活が送れるまちであってほしい。	
満足した	さまざまな学生の意見を聞くことができたから	様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		さまざまな視点での新潟の改善点、向上点があること。新潟の企業率が46位であることが驚きだった	意見交換ができたこと。話せない学生や社会人の方がいたこと	SDGs 新潟はものづくりの街として知られていますが、だからこそ地球に優しい開発に関してもトップレベルになっていけるのではないかと考えています	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	多種多様な学部の学生が集まり、様々な意見交換ができた	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		働き方の改革や、学生の役割	実際に行動されている学生さんがいらっしゃるという事で私自身より一層やる気と熱ついに燃えました残念な所として、時間が少なかった、1日開催では無く2日間あると話し合いの質が上がりますと感じました。	大人たちつまり社会経験をされた方だけの目線以外にも学生等を取り入れるあたりに関心があります。この幅をもっと広げ海外から移住された方にもお話を伺うと方がもっと良くなりそうです。	
とても満足した	はじめは不安だったが、ファシリテーターの方達の進行で意見交換を行うことができました。また、様々な視点でたくさんの意見を聞いて、なるほどと思うことが多く充実したので、ワークショップのやり方を参考にしたいです。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		自分とは違う考えの意見がたくさんありました。県外の人視点から考えると新潟市には不便なこともあることに気づきました。	嬉しかったことは自分の意見が少しでも広まったことです。残念だったことは特にはないです。	まちづくりの魅力の発信の仕方に関心があります。今後、街歩きマップを作成しようと計画していて、どのように発信していくのがよいか知りたいからです。	
満足した	メインとなるグループに属しながらも、他グループとも交流をすることで様々な意見を知ることができたのが良かった。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		自分自身も含め、まちづくりに関心を持つ若者が多い事実。	嬉しかったことは、まちづくりに関する様々な意見を同年代の方から知れたこと。残念だったことは、グループワークの時間が少し短かったこと。	高齢者が暮らしやすいまちづくり。高齢化が進む中で、高齢者が安心して住み続けられるようなサービスを充実させることが特に重要だと感じるから。	今回のワークショップは、まちづくりに関して魅力的なアイデアを持つ参加者ばかりで、このような人が定期的に集まり意見交流しあえば、まちづくりに関する面白い方策が生まれるのではないかと。

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	今回のワークショップを通して、この機会が無ければ交流することのない大学や専門学校の方とお話しすることができたことが一番満足した理由になります。新潟市について考える事は個人的にどの市に注目をおくべきなのか何に視点を置いて考えていくことが正解なのか分からず、事前の課題提出では抽象的なことしか書くことが出来ませんでした。今日までに自分の新潟市に対するイメージや他の市との比較を行い、起業についてなにか自分のやりたいことが実行できるそんな新潟市になってほしいと理想が固まりました。グループのメンバーの意見と自分の意見には合致する点もありたくさんの人の意見を聞くことができて満足しました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		私は生まれも育ちも新潟市であるため、今の環境が当たり前でありあまり不便なこともなく生活することが出来ていたため新潟市のいいところも悪いところもあり見えていない点がありました。今回の4グループには他県や他の市から参加されている方が多く、他から来たこそ分かる新潟市の課題について気づかされました。また普段は新発田の大学に通っているため新発田と新潟市の違いもあるのではないかと知りたいという気持ちになりました。	この4グループでお話を出来たことが嬉しかったです。活発に自分がやりたいことを行っている方が多くいて、他の学校の活動を知ることができたのが良かったです。対面で行えなかったことと時間に限りがあることが残念でした。	新潟市の強みをいかしたまちづくりというところに関心を持ちました。先ほどのディスカッションのなかでも何度も出てきていましたが、多くをブッシュするのではなく特定の特に新潟のいいものすごいものに搾ってPRしていくことが求められるのではないのかなと思いました。	このような会に参加させていただくことが初めてでいろいろな刺激をいただくことが出来て楽しく学ぶことが出来ました。またこのような学生が交流できる何かがあれば参加したと思いました。ありがとうございました。
とても満足した	3時間は長いと思ったが、普段一緒に活動している人以外の学生で新潟市のより良い未来のについて話し合えた貴重な時間で楽しくて、あっという間に時間が経ったから。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟には様々な専門分野の学生がいて、色々な観点で新潟市の理想を描いていたこと。	新潟市の多くの学生が新潟市のこれからについてちゃんと意見を持っていることが希望に感じました。	広報活動。自分の研究分野が行政広報であるから。	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	同じグループや他グループの方々の意見を聞いたことで、自分ではわからなかった新潟市の魅力や課題を知ることができたからです。また、自分が考える未来の新潟市の理想像のために何をすべきかについての考えも深まりました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。地域へ関わる一つのきっかけとなること。		参加されている方々は、それぞれ新潟市の未来について自分が大学などで学んでいることと関連づけて考えている方が多いと気づきました。そのため、私も自分が大学で学んでいることと関連付けて未来の新潟の理想像について考えてみたいと思いました。	嬉しかったことは、他の大学の方々と交流し現在の新潟・未来の新潟について話をできたことです。残念だったことは、私は班の代表者として話し合いの進行や発表を担当させていただいたのですが、うまく班の意見を発表できなかったことです。次回このような機会があったら班全員の意見を自分の頭の中でもきちんと整理して相手にわかりやすく伝えられるように練習したいと思います。	私は、新潟市が行っている「育児と仕事の両立」についての取り組みについて関心があります。理由は、私は大学で社会保障について勉強しており、今回事前資料で拝見したデータによると育児をしている女性の有業率が政令市第二位となっているからです。保育所が多いことなどが理由の一つとして挙げられますが、具体的に女性が働きやすい環境がどのようにして実現されているのか課題はあるのか等について新潟市の市制をもっと知りたいと考えています。	私は、学生が市の未来について話し合うようなワークショップに今回初めて参加したのですが、初対面の方々と意見を交換する楽しさや意見をまとめる難しさに気づくことができました。
とても満足した	自分では考えつかないようなアイデアに出会えたから。新潟市を盛り上げたいと活動している学生がたくさんいることを知れたから。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。地域へ関わる一つのきっかけとなること。		今の新潟市に対して、皆同じような意見や感覚を持っているということ。学校がある場所によって、それぞれ活性化のために活動している内容も異なるということ。	アクティブな学生にたくさん出会えて嬉しかったです。新潟市の話から新潟の話し合いにすり替わって議論が進みがちだったことや、今の新潟市の魅力に感じている部分をくわしく話せなかったことが残念です。	教育制度や魅力発信など母親が教師で、小さい頃から先生の仕事に慣れてきており、教育制度がいかに重要が感じてきたからです。新潟市に魅力がないわけではないけれど、これと言ったものがないので、それを上手に発信し、地元の人々の誇りを作ることで、人口流出が減ると思うからです。	
とても満足した	新潟市の発展に繋げるため、今回のワークショップに参加しました。ご参加した皆様の素晴らしいアイデアを拝聴することによって、自身のアイデアもさらに深めることが出来ました。今後の自身のすべきことが具体的なものとして現れてきました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。地域へ関わる一つのきっかけとなること。自然とともに健康に生きるまち新潟を実現するための具体的なアイデアを掴むきっかけを得ること。		新潟市の発展のためには、ヒトの繋がりを深めることが第一だということ。	自身の意見に対して率直な感想をいただけたことが嬉しかったです。	私は幸福は肉体面・精神面の健康によってもたらされると考えております。上記の健康を実現するためには、運動・スポーツを行うことが有効だと捉えます。したがって、新潟市が運動・スポーツを通じた健康福祉のための施策を行っているのか。行っているならどのようなものがあるのを知りたいです。	
とても満足した	新潟市の未来を考えるとともに他校の方と話せる良い機会になった	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。		新潟市の現在の取り組みやこれからのこれからの話題がわかった	色々な視点の意見を聞いて良い経験になった	新潟2キロをきっかけに新潟市がより活気ある街になって欲しい	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	このワークショップは新潟市や自分の将来の生活について深く考えるきっかけになりましたし、当日はとても活発な話し合いができて、3時間があっという間に感じたからです。もっと積極的に新潟のまちづくりに関わっていきたいと思いました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		人と人との交流が、新しいアイデアや課題を見つけることに繋がるのだと強く実感しました。 個人的に、今回参加していた学生は今以上の刺激を新潟市に求めているように見えます。だからこそ、大きな変化や確実に効果のある取り組みを考えていくことが必要なのだと思いました。	自分の意見に共感してもらえたことや、自分が今まで思っていたことを他の学生が具体的に言語化してくれたことが嬉しかったです。また、司会の方が話しやすい雰囲気を作ってくれたことも印象に残っています。	何か新しい取り組みやイベントが始まった時にそれをどのように宣伝していくのか、新潟市の広報に関心があります。現在私自身が大学の広報活動に参加しており、より多くの人に関心をもってもらえる伝え方やアプローチ方法を学びたいと思っていますからです。ワークショップ内でも「新潟市には魅力がたくさんあるのにアピールが足りていない」という話があり、クリエイティブなPR活動や広告媒体にこれから期待したいです。	